

# 環境報告書 2020



*Creation & Harmony*



**SK-Electronics CO., LTD.**

# 「自然との調和」 *Harmony*



## コンテンツ

ごあいさつ	02	社内環境活動	05
環境への取り組み	02	社会貢献活動	05
環境活動の歩み	03	環境保全活動	07
環境管理組織	03	今後の取り組み	07
環境マネジメントへの具体的取り組み	04	会社概要	07

## 編集方針

この「環境報告書」は、当社が地域社会の一員として環境保護の責任を担い、これまで取り組んでまいりました環境保全活動ならびに社会貢献活動の内容や成果をご紹介しますことで、当社の「環境」に対する考え方を皆様にご理解いただくことを目的に作成いたしました。

## ごあいさつ

エスケーエレクトロニクスは「創造と調和」を経営理念としています。「創造」とは常に積極的に新しい価値創造に励み、社会の求めるより良い製品をご提供するという意味です。

「調和」とは、社会との調和、**自然との調和**、そして人との調和を大切にした企業活動により社会的責任を果たすという意味が込められています。

この経営理念に基づき、当社の環境理念である「常に自然の恵みを大切にし、企業活動を通じて環境改善に取り組み、自然との調和を実現します。」を策定いたしました。

地球の限りある資源のもとに事業活動を行う当社は、環境保全や環境負荷低減のために、その事業の成果をもって貢献する責務があり、また環境問題への取り組みは企業価値向上につながる重要な企業活動の一つと考えています。

今後は、社会の求めるより良い製品をご提供するとともに、地球環境保全や環境負荷低減に貢献し、環境理念である「自然との調和」の実現を目指してまいります。



代表取締役社長

## 環境への取り組み

当社では、環境経営を実践していくうえで重要なシステムとなる環境マネジメントシステム(ISO14001)の認証を、2002年に京都工場、2011年に滋賀工場で取得しました。

また、環境理念に基づく8つの環境方針を策定し、掲げた環境目標を達成するために環境管理体制を整備して、社員一人ひとりの環境意識向上に取り組んでまいりました。

地域社会とのコミュニケーションも重要な取り組み課題の一つと考え、事業所周辺の身近な地域社会における環境保全活動ならびに社会貢献活動を地域の方々とともに進めております。

今後は、後ほどご紹介申しあげます社内環境活動や社会貢献活動、環境保全活動の継続ならびに充実を図り、当社が果たすべき社会的責務に積極的に取り組んでまいります。

### 経営理念 「創造と調和」

**環境理念** 私たちは、経営理念に基づき、常に自然の恵みを大切にし、企業活動を通じて環境改善に取り組み、自然との調和を実現します。

- 環境方針**
1. 地球温暖化防止のため、省資源・省エネルギーに努めます。
  2. 汚染を防止し、循環型社会の形成に貢献(3R※の実践)し、環境保護に努めます。
  3. グリーン調達に取り組み、環境に優しい製品作りに努めます。
  4. 関連する環境法令や規制及び協定等を順守いたします。
  5. 環境教育を実施し、環境意識の向上を図ります。
  6. 社会貢献活動を実施します。
  7. 環境パフォーマンスを向上させるために環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。
  8. この方針は社員に周知徹底すると共に、一般にも公開いたします。

※3R…Reduce(廃棄物の排出抑制)、Reuse(再利用)、Recycle(再資源化)

### 環境理念

私たちは、経営理念に基づき、常に自然の恵みを大切にし、企業活動を通じて環境改善に取り組み、自然との調和を実現します。

### 環境方針

「環境への取り組みはSKE社員の責務である。」を基本姿勢に、当社の事業活動や製品及びサービスによる環境影響を評価し、以下の方針に基づき環境問題に継続的に取り組んでまいります。

1. 地球温暖化防止のため、省資源・省エネルギーに努めます。
2. 汚染を防止し、循環型社会の形成に貢献(3Rの実践)し、環境保護に努めます。
- ※3R…Reduce(廃棄物の排出抑制)、Reuse(再利用)、Recycle(再資源化)
3. グリーン調達に取り組み、環境に優しい製品作りに努めます。
4. 関連する環境法令や規制及び協定等を順守いたします。
5. 環境教育を実施し、環境意識の向上を図ります。
6. 社会貢献活動を実施します。
7. 環境パフォーマンスを向上させるために環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。
8. この方針は社員に周知徹底すると共に、一般にも公開いたします。

2020年 10月  
株式会社エスケーエレクトロニクス  
経営者 向田 泰久  
システム管理責任者 吉川 隆  
京都工場地区代表 小園 秀広  
滋賀工場地区代表 田嶋 勇

SK-Electronics CO., LTD.

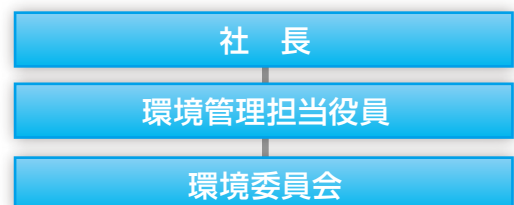
## 環境活動の歩み

2001年	10月	株式会社写真化学より分社し、株式会社エスケーエレクトロニクス設立
2002年	9月	京都工場でISO14001認証取得
2005年	5月	本社、京都工場での周辺地域清掃活動スタート
2006年	8月	本社前の戻橋児童公園へベンチ5脚寄贈 京都市より感謝状授与(2006年9月)
2007年	11月	社会福祉法人への支援活動を開始(京都工場)
2008年	6月	京都工場の所在地である久御山町内の幼稚園に「緑のカーテン」を設置
	8月	京都市、NPO法人、企業のハイブリッド組織で「水源の森づくり」活動に参画
	10月	「水源の森づくり」京北町の合併記念の森にて北山杉の第1回間伐作業に参加
2009年	3月	「水源の森づくり」第2回間伐作業に参加
	5月～10月	京都工場近隣2カ所の幼稚園に「緑のカーテン」を新たに設置
	7月	京都工場地域環境活動として、「木津川下津屋橋(通称:流れ橋)付近地域清掃」を実施
	11月	本社地域環境活動として、「堀川周辺地域清掃」を実施 発展途上国の子どもたちにワクチンを贈るため、ペットボトルキャップの収集を開始 滋賀工場の敷地の一角に農園を設け、野菜の栽培を開始
2010年	2月	関西盲導犬協会への支援活動を開始
	3月	「水源の森づくり」植樹作業に参加
	5月～10月	京都工場近隣3ヶ所の幼稚園に「緑のカーテン」を設置
	10月	滋賀工場にて「ひのきが丘企業会」主催の「環境美化の日」清掃活動へ参加
	11月	「水源の森づくり」京都市右京区鳴滝音戸山にて竹林清掃活動に参加
2011年	5月～10月	京都工場近隣3ヶ所の幼稚園へ「緑のカーテン」を設置
	9月	滋賀工場でISO14001拡張認証取得
2012年	3月	「合併記念の森 記念式典」と「森づくりパートナーによる植樹」に参加
	5月～9月	京都工場近隣3ヶ所の幼稚園へ「緑のカーテン」を設置
2013年	11月	滋賀工場にて「ひのきが丘企業会」主催の「環境美化の日」清掃活動へ参加
2014年	5月～9月	本社近隣の幼稚園に「緑のカーテン」を設置
2016年	4月	第1回滋賀工場地域環境活動として、「琵琶湖外来魚駆除大会」に参加
	5月～9月	本社近隣の幼稚園に「緑のカーテン」を設置
2020年	11月	第11回本社地域環境活動として、「堀川周辺地域清掃」を実施
	9月	第5回滋賀工場地域環境活動として、「琵琶湖外来魚駆除大会」に参加

## 環境管理組織

- 当社では、社長を最高責任者として環境保全活動に取り組んでいます。
- 社長の命をうけた環境管理担当役員のもと、環境委員会を設置しています。
- 環境委員会で企画、検討を行った取り組みについて、スムーズに実施するために環境委員会は各職場代表で構成しています。
- 社員は環境委員会のもと、環境保全活動に取り組みます。

### 環境管理組織図



# 環境マネジメントへの具体的取り組み

## 環境目標

### 環境各期計画の実績

#### 第1期 (2001年10月～2004年9月)

第1期は、CO<sub>2</sub>削減と廃棄物削減に取り組みました。CO<sub>2</sub>削減(売上原単位\*)は、2001年9月期の実績値から20%削減の目標としましたが、2004年9月期には、23%の削減を達成しました。

廃棄物削減については、2001年9月期から40%削減の目標としましたが、3年間で51%の削減をすることができました。  
※売上原単位…エネルギーの使用量/売上高

#### 第2期 (2004年10月～2007年9月)

第2期の計画は、引き続きCO<sub>2</sub>および廃棄物削減に取り組むと共に、水、電力、燃料、排ガス消費の削減を目指しました。CO<sub>2</sub>削減の結果は、2004年9月期の実績に対して15%削減の計画でしたが、新工場建設による設備増加のため、残念ながら2007年9月期には7%増になりました。

しかし廃棄物削減は、2004年9月期から30%削減の目標に対して2007年9月期には90%削減を達成し、大幅な削減となりました。

#### 第3期 (2007年10月～2010年9月)

第3期は4つの目標を立てました。まず、グリーン購入率は目標の95%を目前にして達成することができませんでしたが、今後は維持管理を行い購入率の推移に変動がないよう取り組んでいくこととしました。事務用品購入量は、15%削減の目標に対して大きく上回る数字で目標を達成しました。コピー用紙購入量の削減は目標を達成できなかったため、次の3カ年計画では再度目標に掲げて削減を推進することといたしました。故紙・ダンボール排出量は、目標に対してわずかにオーバーしましたが、今後は維持管理を行い排出量が増加しないよう取り組むことといたしました。

#### 第4期 (2010年10月～2013年9月)

第4期は具体的施策による残業時間の削減、電子決裁導入などによるコピー用紙の削減、エネルギー使用量削減(原油換算)の3つの目標を掲げました。残業時間の削減については、毎年3%、3年間で9%の削減を目指し、最終的に11%の削減を達成しました。コピー用紙の削減・エネルギー使用量削減については、毎年2%、3年で6%の目標に対し、コピー用紙は電子決裁システムの導入やミスコピーの撲滅活動等により3年間で19%の削減、エネルギー使用量はエレベーター等省電力設備の導入や節電意識の高揚により14%の削減を達成することができました。

#### 第5期 (2013年10月～2016年9月)

第5期は、「改正省エネ法」に対する全社的な取り組みを重点課題として、エネルギー使用量削減(原油換算)を目標に設定しました。その結果は、3カ年トータルで3%削減の目標に対して、京都工場は1.9%の削減、滋賀工場は1.3%の削減と、様々な施策を実施したものの目標未達成に終わりました。

#### 第6期 (2016年10月～2019年9月) および 第7期 (2019年10月～2020年9月)

第6期および第7期は、「エネルギー使用量削減(延床面積原単位)」と国内外で製品への使用が禁止されている化学物質について、当社でも製品へ含有しないよう管理を徹底するため、「有害物質に配慮した製品含有化学物質管理」を目標に掲げました。詳細については、5ページに記載のとおりです。

## ●エネルギー使用量削減

当社では、地球環境に影響を与えるCO<sub>2</sub>の削減を目指して、エネルギー使用量の削減を目標に掲げました。目標値の設定に当たっては、昨年に引き続き「省エネ法」にリンクさせ、延床面積原単位におけるエネルギー使用量を、京都工場・滋賀工場の合計で前年度比1%以上削減させるため、目標を定め、それぞれ下記のとおり活動を推進しましたが、結果は両工場合計では前年度比1.3%の増加となり、残念ながら当初の目標を達成することができませんでした。今後さらなるエネルギー使用量削減を推進してまいります。

### ■ 京都工場

京都工場では、「延床面積原単位エネルギー使用量を前年度比で1.0%削減」を目標とし、生産設備の効率的な再編等積極的な省エネ施策を実施しました。その結果、前年度比で0.1%の削減となりました。

### ■ 滋賀工場

滋賀工場では、「延床面積原単位エネルギー使用量を前年度比で1.0%増加以内」を目標とし、エネルギー使用量増加を最小限に押さえる活動を行いました。生産設備の投資計画によるエネルギー使用量の増加となり、前年度比で3.6%の増加となりました。

## ●有害物質に配慮した製品含有化学物質管理

世界的な流れとして、地球環境への有害物質の影響を低減させることが産業界に求められています。当社でも京都工場・滋賀工場の両工場において、「当社製品への禁止物質含有をゼロ」を目標に掲げ活動を推進しました。取引先様にご協力いただき、新材料・新製品の導入時に禁止物質でないことの確認を徹底することにより、「当社製品への禁止物質含有ゼロ」を昨年に引き続き達成しました。

## 社内環境活動

### ● 滋賀農園

滋賀工場では6年前より、社内環境活動の一環として、滋賀工場の敷地内の畑で野菜を育てています。今年は、長雨や害獣の被害に頭を悩ませながらも、ブロッコリー、トウモロコシ、スイカなど計9種の野菜を収穫することができました。新型コロナウイルスの影響もあり、毎年恒例の収穫祭は実施できませんでしたが、収穫物は社員が自宅に持ち帰り自然の恵みをいただきました。



収穫した夏野菜



なすの植え付け

## 社会貢献活動

### ●エコキャップ運動

社会貢献活動の一環として2009年12月より「エコキャップ運動」を進めています。この運動はペットボトルのキャップを外して集め、リサイクル業者に売却し、キャップの再資源化で得た売却益により「発展途上国の子どもたちにBCGやポリオワクチンを贈る」ことで「再資源化」「CO<sub>2</sub>の削減」だけでなく、「社会貢献」にも寄与することを目的としています。

本社・京都工場・滋賀工場の3拠点へ回収ボックスを設置した結果、2019年10月から2020年9月までに集まったエコキャップは**12,195**個でした。これにより**約7人分のポリオワクチン**購入が可能となり**96.04kgのCO<sub>2</sub>が削減**できました。

今後も引き続き社会貢献の一環として「エコキャップ運動」を取り組んでいきます。



## ● 第11回本社地域環境活動「堀川周辺地域清掃」

本社付近の地域環境活動として毎年「堀川周辺清掃活動」を実施しています。今回は例年より少し遅く12月に入っての開催となりましたが、環境活動への貢献を目的に多くの社員が集まりました。清掃活動では2班に分かれ、本社ビルから水火天満宮を目指すチームと丸太町通りを目指すチームで、堀川通り沿いの清掃を行いました。行楽シーズンが明けたタイミングの問題なのか、今回の収集量17.0kgと前回活動時の倍ほどの量となりました。堀川通り沿いは、タバコのポイ捨てが非常に多く、車から投げ捨てられたと見受けられるゴミなども多い印象でした。河川敷は一見きれいに見えますが、石垣の隙間に詰め込まれたゴミなどもあり、歩行者によるポイ捨てが目立ちます。今後、少しでもポイ捨てする人が減るよう、清掃活動を継続し、環境保全に努めていきたいと考えています。



本社玄関での参加者集合写真



河川敷の清掃



落ち葉に埋もれたごみを回収

## ● 第5回滋賀工場地域環境活動「琵琶湖外来魚駆除大会」

毎年、滋賀地区の環境保全活動として、琵琶湖畔で開催される“外来魚釣り大会”に参加しています。今年は新型コロナウイルスの影響で参加人数は少なくなりましたが、少数精鋭の有志が集まり、琵琶湖の生態系保全のため、ブルーギルを大量に釣り上げました。イベント自体の参加者が少なかったこともあり、例年より少ない駆除量でしたが、当社としては過去最高に匹敵する駆除量となりました。運営の方のお話では、近年、外来魚の生息数は減少しているらしく、こうした地道な活動が実を結びつつあるようです。来年は多くの社員に参加を呼びかけ、環境保全活動を身近に感じてもらえればと考えています。



外来魚駆除大会の様子

## 環境保全活動

### ● 太陽光発電システム

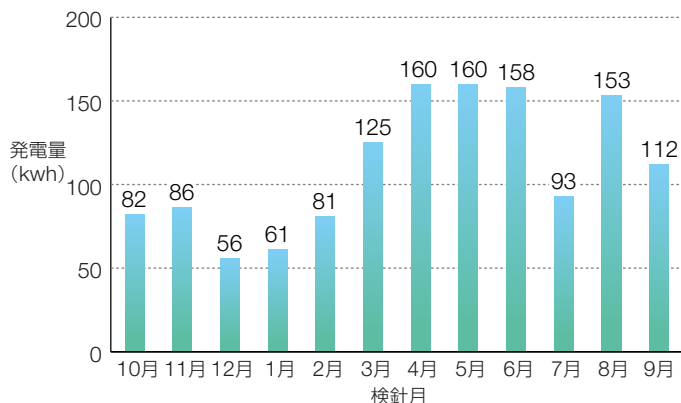
京都工場では、「クリーンエネルギー」である太陽光を利用した太陽光発電システムを導入し、環境保全に貢献しています。今期の発電量は、以下のとおりでした。

今期の積算（2019年10月～2020年9月）

検針月	月次積算量(kwh)	総積算量(kwh)
10月	82	20,302
11月	86	20,389
12月	56	20,445
1月	61	20,507
2月	81	20,588
3月	125	20,714
4月	160	20,874
5月	160	21,035
6月	158	21,193
7月	93	21,287
8月	153	21,441
9月	112	21,553
合計	1,327	21,553

※総積算量については、2005年1月からの積算量

太陽光発電積算量(kwh) ■ 月次積算量(kwh)



## 今後の取り組み

当社は、社会が求めるより良い品質で環境に優しい製品を提供するとともに、環境負荷低減や環境保全に貢献し、環境理念である「自然との調和」を実現するために以下の取り組みを実践していきます。

### ①環境マネジメントの実践

具体的な取り組みとして、「環境教育」の実践により社員の更なる意識向上を図ってまいります。また、「エネルギー使用量削減」、「有害物質に配慮した製品含有化学物質管理」を継続実施してまいります。

### ②社会貢献活動の実践

毎週定期的に行っている本社・京都工場周辺の清掃活動は16年目を迎えました。また、本社近辺での堀川周辺地域清掃や京都工場に訪れるときに利用する近鉄大久保駅周辺の地域清掃を実施しております。全社で行なっている「エコキャップ運動」「関西盲導犬協会への支援活動」も継続していきます。

地域社会の皆様とコミュニケーションを図りながら、新たな社会貢献活動への参加や、ご要望をいただいている取り組みに積極的にお応えしてまいります。

### ③環境保全活動の実践

滋賀工場を有する当社では環境保全活動の一環として、また生物多様性の保全という観点から、滋賀県での実践活動として、「琵琶湖外来魚駆除大会」に参加し、ブルーギル・ブラックバス等の外来魚駆除を行う活動を2016年から行っています。今後も新しい活動に挑戦することにより、地域に貢献すると共に、社内の輪を広げていきたいと考えています。

## 会社概要

社名	株式会社 エスケーエレクトロニクス	SK-Electronics CO., LTD.
設立	2001年10月1日	
本社住所	〒602-0955 京都市上京区東堀川通り一条上ル豊富田町436番地の2	
事業内容	大型フォトマスク事業	
資本金	4,109,722 千円	
従業員数	378名(2020年9月30日現在)	







株式会社 **エスケーエレクトロニクス**  
**[www.sk-el.co.jp](http://www.sk-el.co.jp)**

本 社 〒602-0955 京都市上京区東堀川通り一条上ル暨富田町436番地の2  
TEL.(075)441-2333(代) FAX.(075)441-4291